

## 県条例指定希少野生動植物一覧 (令和4年4月現在52種)

### ■動物(16種)

分類	種名(和名)	種名(学名)	科名	県カテゴリー
爬虫類	オキナワトカゲ	<i>Plestiodon marginatus</i>	トカゲ科	絶滅危惧Ⅱ類
爬虫類	バーバートカゲ	<i>Plestiodon barbouri</i>	トカゲ科	絶滅危惧Ⅱ類
両生類	ベッコウサンショウウオ	<i>Hynobius stejnegeri</i>	サンショウウオ科	絶滅危惧Ⅱ類
魚類	リュウキュウアユ	<i>Plecoglossus altivelis ryukyuensis</i>	アユ科	絶滅危惧Ⅰ類
魚類	タナゴモドキ	<i>Hypseleotris cyprinoides</i>	カワアナゴ科	絶滅危惧Ⅰ類
魚類	タメトモハゼ	<i>Ophieleotris</i> sp.	カワアナゴ科	絶滅危惧Ⅰ類
魚類	キバラヨシノボリ	<i>Rhinogobius</i> sp.	ハゼ科	絶滅危惧Ⅱ類
貝類	シマカノコ	<i>Neritina turrata</i>	アマオブネガイ科	絶滅危惧Ⅱ類
貝類	ムラクモカノコガイ	<i>Neritina (Vittoida) variegata</i>	アマオブネガイ科	絶滅危惧Ⅰ類
貝類	ヤエヤマヒルギシジミ	<i>Gelonina reosa</i>	シジミ科	絶滅危惧Ⅰ類
貝類	クサカキノミギセル	<i>Hemizaptyx kusakakiensis</i>	ギセルガイ科	絶滅危惧Ⅱ類
貝類	ハジメテビロウドマイマイ	<i>Neochloritis tomiyamai</i>	ナンバンマイマイ科	絶滅危惧Ⅱ類
貝類	ウジグントウマイマイ	<i>Euhadra tokarainsula ujiensis</i>	オナジマイマイ科	絶滅危惧Ⅱ類
甲殻類	サキシマヌマエビ	<i>Caridina sakishimensis</i>	ヌマエビ科	絶滅危惧Ⅱ類
甲殻類	ヤシガニ	<i>Birgus latro</i>	オカヤドカリ科	絶滅危惧Ⅰ類
甲殻類	リュウキュウサワガニ	<i>Geothelphusa obtusipes</i>	サワガニ科	絶滅危惧Ⅰ類

### ■植物(36種)

分類	種名(和名)	種名(学名)	科名	県カテゴリー
植物	ヒメウラジロ	<i>Cheilanthes argentea</i>	イノモトソウ科	絶滅危惧Ⅱ類
植物	ミヤビカンアオイ	<i>Heterotropa celsa</i>	ウマノスズクサ科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	ハツシマカンアオイ	<i>Heterotropa hatsushimae</i>	ウマノスズクサ科	絶滅危惧Ⅱ類
植物	ヤクシマアオイ	<i>Heterotropa yakusimensis</i>	ウマノスズクサ科	絶滅危惧Ⅱ類
植物	ミチノクフクジュソウ	<i>Adonis multiflora</i>	キンボウゲ科	絶滅危惧Ⅱ類
植物	アマミアセビ	<i>Pieris amamioshimensis</i>	ツツジ科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	アマミセイシカ	<i>Rhododendron amamiense</i>	ツツジ科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	ハヤトミツバツツジ	<i>Rhododendron dilatatum</i> var. <i>satumen</i>	ツツジ科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	テンノウメ	<i>Osteomeles anthyllidifolia</i>	バラ科	絶滅危惧Ⅱ類
植物	シシラン	<i>Lysionotus pauciflorus</i>	イワタバコ科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	イワギリソウ	<i>Ophithandra primuloides</i>	イワタバコ科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	ヤマシャクヤク	<i>Paeonia japonica</i>	ポタン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	イワザクラ	<i>Primula tosaensis</i>	サクラソウ科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	ウケユリ	<i>Lilium alexandrae</i>	ユリ科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	ヒナラン	<i>Amitostigma gracile</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	サツマチドリ	<i>Amitostigma kurokamianum</i> var. <i>micro</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	クスクスラン	<i>Bulbophyllum affine</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	シコウラン	<i>Bulbophyllum macraei</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	キリシマエビネ	<i>Calanthe aristulifera</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	アマミエビネ	<i>Calanthe aristulifera</i> var. <i>amamiana</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	レンギョウエビネ	<i>Calanthe lyroglossa</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	オナガエビネ	<i>Calanthe masuca</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	サクラジマエビネ	<i>Calanthe oblanceolata</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	ヘツカラン	<i>Cymbidium dayanum</i> var. <i>austro-japon</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	カンラン	<i>Cymbidium kanran</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	サギソウ	<i>Habenaria radiata</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	フウラン	<i>Neofinetia falcata</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	ウチョウラン	<i>Orchis graminifolia</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	ガンゼキラン	<i>Phaius flavus</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	カクチョウラン	<i>Phaius tancarvilleae</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	ナゴラン	<i>Sedirea japonica</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	トキシソウ	<i>Pogonia japonica</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	アキザキナギラン	<i>Cymbidium javanicum</i> var. <i>aspidistrifol</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	クマガイソウ	<i>Cypripedium japonicum</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅱ類
植物	サルメンエビネ	<i>Calanthe tricarinata</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植物	キバナノセッコク	<i>Dendrobium catenatum</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅱ類

# ヒメウラジロ



※画像元：自然保護課撮影

# ヒメウラジロ

分類群	維管束植物	科名	イノモトソウ科
和名	ヒメウラジロ		
学名	<i>Cheilanthes argentea</i>		
カテゴリ	鹿児島県	絶滅危惧Ⅱ類	
	環境省	絶滅危惧Ⅱ類	
基礎情報	比較的限られた場所に生じる常緑のシダ植物。根茎は短く、直立から斜上する。葉柄は葉身よりはるかに長く、葉身は五角状の広三角形、やや硬い革質、偽包膜は連なって長い。 向陽の山地の岩上や路傍の石垣の間に生育するが、生育地は限られていて、個体数も減少しつつある。		
分布域	県内	霧島市、長島、種子島など。	
	県外	東北～九州	
生息状況	県内の生息地が限定されており、過度の採取により絶滅の恐れがある。		
備考	園芸用の採取や石垣の除草等が減少の主要因とされる。 長島町が天然記念物に指定し、保護している。		

※解説出典：鹿児島県レッドデータブック2016  
環境省レッドデータブック2014

# キバナノセッコク



※画像元：片野田 逸朗氏提供

# キバナノセッコク

分類群	維管束植物	科名	ラン科
和名	キバナノセッコク		
学名	<i>Dendrobium catenatum</i>		
カテゴリ	鹿児島県	絶滅危惧Ⅱ類	
	環境省	絶滅危惧IB類	
基礎情報	<p>常緑樹林内の樹幹や岩上に着生する常緑の着生ラン。          茎はふつう下垂し、長さ15～40cm。葉は数枚を互生し、披針形で長さ2～7cm、幅7～12mm。          花期は7～11月で、上方の関節から総状花序を出し、3～8花をつける。花は淡黄緑色で径3cm、唇弁は倒卵形で上面中央に暗紫色の斑紋がある。</p>		
分布域	県内	鹿児島市、南さつま市、いちき串木野市、大隅半島、種子島、屋久島、黒島、奄美大島など	
	県外	伊豆、四国、九州	
生息状況	県内の生息地が限定され、過度の採取により絶滅する恐れがある。		
備考	<p>園芸用の採取等が減少の主要因とされる。          奄美5市町村が希少種条例により保護している。          九州では、宮崎県が希少種条例により保護している。</p>		

※解説出典：鹿児島県レッドデータブック2016  
 環境省レッドデータブック2014